

令和6年度関東高等学校体育大会ソフトテニス競技埼玉県予選会

男子団体 令和6年5月6日(月) [彩の国くまがやドーム]・9日(木) [熊谷さくら運動公園]

女子団体 令和6年5月5日(日) [彩の国くまがやドーム]・9日(木) [熊谷さくら運動公園]

【競技上の注意】

1.競 技

- (1) 本大会は(公財)日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブックに準拠し、また顧問総会資料の申し合わせに従って、2点先取の団体戦で行う。各マッチは7ゲームで行う。
- (2) プレーヤー、審判とも公認の正しい服装でコートに出場する。ゼッケンは必ず四隅を留める。
- (3) 大会使用球は、男子「赤エム」・女子「KENKO」とする。
- (4) 試合前の練習は1分以内とする。練習終了後はベンチに戻らずに速やかにマッチを開始する。両チームの挨拶終了から1分を目安として、第1対戦のペアの集合となるように対応する。
- (5) 本大会では3位決定戦を行う。第1日目はベスト16まで行う。

2.進 行

- (1) 進行表に従って行う。ベンチは番号の小さいチームが通路側を使用する。
- (2) 試合の進行状況によりコート変更の場合があるので、選手・審判は放送に注意する。
- (3) 所定のオーダー票に監督名、選手のフルネームを対戦順に記入する。
オーダー交換は本部前で行う。
- (4) 対戦のどちらかが初戦の場合には、第3マッチまで行う。以降は2点先取とする。
- (5) 1回戦は1面展開とし、それ以降は2面または3面展開で行うこともある。
- (6) 勝者のチームは試合終了後、速やかに採点票を本部へ提出する。

3.審 判

- (1) 審判を行う際は、審判資格ワッペンを左胸に着用する。コールの声が届かないと思われる場合はサインを伴って判定する。
- (2) 各コート第1試合は相互審判とし、隣り合うコートの対戦の審判を1名ずつ出して行う。
第2試合以降は敗者審判とする。また敗者審判の学校の監督は、該当コートのコート主任として、コート後方で審判への助言、本部との連絡等を行う。
- (3) 審判は採点表の各校のオーダーと選手名を確認して対戦を始める。試合終了後は勝敗及びスコアの確認をし、勝利チームに勝者サイン欄に記入させ採点票を渡す。

4.そ の 他

- (1) すべての引率責任者及び外部指導者・部活動指導員は、会場内では必ずIDカードを着用する。
団体戦では監督が1名ベンチに入り、指導・助言は監督のみが行うことができる。
2面展開での監督の位置は中央とし、3面展開では監督の移動は可とする。
- (2) くまがやドームでの応援は、1～8コートは2階から、9～16コートはスタンド側からとする。
- (3) 部旗等の掲揚は許可された場所のみとする。
- (4) 会場内では原則右側通行とし、ボールを使った練習はしない。
- (5) 会場内での指定された場所でのみ、持ち込みテントの設営を許可する。
- (6) 貴重品の管理には十分注意する。またゴミは必ず持ち帰る。
- (7) 水分補給・休養等しっかり取って体調管理に留意し、また十分な感染症対策及び熱中症対策を講じる。体調不良者が出た場合は、速やかに本部へ連絡する。

《彩の国くまがやドーム会場での注意事項》

- (1) くまがやドームの施設利用について、試合をする選手を除いて1コートから8コートの通路は大会運営上の理由から、通行ができない。ただし、ビデオ係等の生徒はその通路から撮影を行う。
- (2) くまがやドームのコートについて、ネットの下部のパイプはネットの一部と見なす。またネットポストの下の支えとなる足はネットの一部とは見なさないで判定の際に注意する。